

## 「日本学術振興会 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 シンポジウム」に登場しました（2020/2/16）

テーマ：人文・社会学，社会貢献，災害伝承  
場所：ベルサール東京日本橋（東京都中央区）

2月16日（日），「日本学術振興会 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 シンポジウム」が開催されました。同研究推進事業は，先導的な人文学・社会科学の振興を目指すもので，今回のシンポジウムは，採択研究テーマ関係者間の交流機会の創出と共に本事業に関する理解促進を図る目的で実施されました。

佐藤翔輔准教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）は，平成27年度に同プログラムに採択されており，研究期間が終了したプログラムのうち，その代表事例として成果報告を行いました（平成27年度採択の11件中，発表該当は2件のみ）。同プログラムは，総合評点Aという高い評価を得ています。シンポジウム後半は，人文・社会学分野における研究評価の指標や方法論をテーマとして討議がなされ，盛会となりました。

### 【発表題目】

平成27年度「実社会対応プログラム」採択テーマ成果報告

「効果的・持続的な災害伝承を目的にした拠点構築手法のモデル化と実践的研究」 佐藤翔輔

## 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 シンポジウム

本シンポジウムでは、「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」の研究事例の成果を広く発信することを通じて、採択研究テーマ関係者間の交流機会の創出と共に本事業に関する理解促進を図る。また、人文学・社会科学研究の推進に向けて、パネルディスカッションを行う。今回のテーマとしては、人文学・社会科学の教育研究については、人文学・社会科学の教育研究に関する議論を導き、その成果をテーマとして発信していくための論議が社会科学者や教育者、スポンサーとの連携を促す。また、その成果をテーマとして発信していくための論議が社会科学者や教育者、スポンサーとの連携を促す。また、その成果をテーマとして発信していくための論議が社会科学者や教育者、スポンサーとの連携を促す。

日時 **2020 2/16 (SUN)**  
13:00-16:50

会場 ベルサール東京日本橋 5階 Room4+5  
(東京都中央区日本橋2-7-1)

■主な対象：人文学・社会科学に関心のある研究者・学生、事務局員、関係機関等  
■参加費：無料 ■定員：110名（先着順）

【事前申込み】Webページよりご登録ください  
<https://www.jpss.go.jp/kada/symposium/20200216-1.html>

第一部 13:00-15:00  
開会挨拶 家 憲弘 (日本学術振興会 理事)  
開会挨拶 原 克彦 (文部科学省 審判官兼長官補)  
開会挨拶 嶋山 和夫 (独立行政法人 日本学術振興会 研究推進部 部長)  
平成26年度「実社会対応プログラム」採択テーマ成果報告  
報告 佐藤 翔輔 (人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野)  
報告 山本 達一 (次学長兼 学術・学務部長 防災研究部)  
報告 山本 達一 (次学長兼 学術・学務部長 防災研究部)  
報告 山本 達一 (次学長兼 学術・学務部長 防災研究部)

第二部 15:30-16:50  
パネルディスカッション  
【本学術振興会による人文学・社会科学の特性を踏まえた研究評価】  
司会 嶋山 和夫  
報告 山本 達一 (次学長兼 学術・学務部長 防災研究部)  
報告 山本 達一 (次学長兼 学術・学務部長 防災研究部)  
報告 山本 達一 (次学長兼 学術・学務部長 防災研究部)



会場の様子（パネルディスカッション）

主催 日本学術振興会 JSPS  
独立行政法人 日本学術振興会 研究推進部研究事業課  
E-mail: sh-s@jpss.go.jp TEL: 03-3263-1106, 4645

シンポジウム概要（リーフレット）

文責：佐藤翔輔（人間・社会対応研究部門）